

OXIDE

株式会社オキサイド

2026年2月期 第1四半期

決算補足説明資料

2025年7月15日

東証グロース:6521

豊かな未来を 光の技術で実現する

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

決算補足説明資料に基づいて、ご説明させていただきます。

Agenda

OXIDE

01. 2026年2月期 第1四半期決算 連結業績
02. 事業別業績 [半導体・ヘルスケア・新領域]
03. 米国および中国の関税政策・輸出規制が当社に及ぼす影響について(7/15更新)

2026年2月期 第1四半期決算ハイライト

- 当期の売上高は、概ね予想通りで、前年同期比では大幅な増収となりました。
- 営業利益は予想比および前年同期比の双方を大幅に改善しました。
増加要因としては、生産性の向上、新領域事業の売上増加、製品構成の変化等が挙げられます。

売上高

17億87百万円

予想比 ▲26百万円
前年同期比 +3億99百万円

営業利益

▲72百万円

予想比 +1億42百万円
前年同期比 +3億34百万円

EBITDAマージン

8.6%

予想比 +8.3%
前年同期比 +19.0%

まず初めに2026年2月期 第1四半期決算ハイライトについてご説明いたします。

当期の売上高は、概ね予想通りで、前年同期比では大幅な増収となりました。

営業利益は予想および前年同期比の双方を大幅に上回りました。

増加要因としては、生産性の向上、新領域事業の売上増加、製品構成の変化等が挙げられます。

2026年2月期 第1四半期実績

OXIDE

- 売上高 17億8,700万円(予想対比2,600万円減収、前年同期比3億9,900万円増収)
- 営業損失 7,200万円(予想対比1億4,200万円増益、前年同期比3億3,400万円増益)
- EBITDA 1億5,400万円(予想対比1億4,700万円増益、前年同期比2億9,800万円増益)

(単位:百万円、%)

項目	26年2月期 1Q※1			(参考) 25年2月期 1Q	前年同期比	26年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	1,814	1,787	▲ 26	1,388	+399	8,713
営業利益	▲ 215	▲ 72	+142	▲ 406	+334	409
(営業利益率)	▲11.9%	▲4.0%	+7.8%	▲29.3%	+25.3%	4.7%
研究開発費	337	465	+127	315	+150	1,330
EBITDA※2	6	154	+147	▲ 144	+298	1,278
(EBITDAマージン※3)	0.4%	8.6%	+8.3%	▲10.4%	+19.0%	14.7%

※1 「26年2月期」は「2025年3月～2026年2月」の会計年度を指します。

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved. ※2 EBITDA:営業利益に償却費(減価償却費・のれん償却等を含む)を加えた数値 ※3 EBITDAマージン:EBITDA÷売上高

4

2026年2月期の第1四半期実績についてご説明いたします。

売上高は、17億8,700万円となりました。予想対比2,600万円減収、前年同期比3億9,900万円増収です。

営業損失は、7,200万円となりました。予想対比1億4,200万円増益、前年同期比3億3,400万円増益です。

EBITDAは、1億5,400万円となりました。予想対比1億4,700万円増益、前年同期比2億9,800万円増益です。

02.事業別業績

半導体 | 売上高

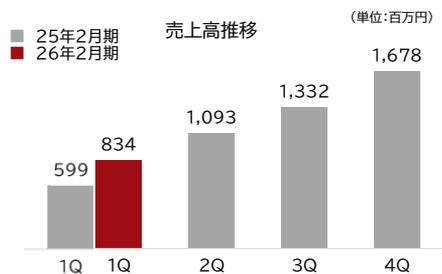
OXIDE

■ 半導体事業の売上高は8億3,400万円となりました。

■ 前年同期比では2億3,500万円の増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			(参考) 25年2月期 1Q	前年同期比	26年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	890	834	▲ 55	599	+ 235	4,555



Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

5

事業別の業績についてご説明いたします。

まず、半導体事業の売上高は、8億3,400万円となりました。

予想対比では5,500万円減収となりましたが、前年同期比では2億3,500万円の増収となりました。

02.事業別業績

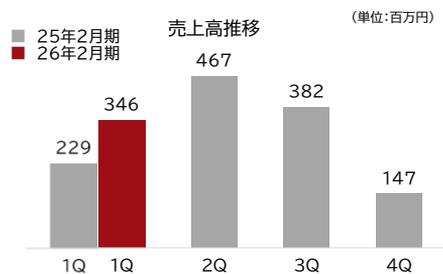
ヘルスケア | 売上高

OXIDE

- ヘルスケア事業の売上高は3億4,600万円となりました。
- 新規顧客である高性能PETトップメーカーへの出荷を開始し、前年同期比で1億1,700万円の増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			(参考) 25年2月期 1Q	前年同期比	26年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	401	346	▲ 55	229	+ 117	2,170



PET装置に用いる当社製品

シンチレータ単結晶

PET検査装置のしくみ

放射線
シンチレータ単結晶
PET診断画像

ヘルスケア事業についてご説明いたします。

ヘルスケア事業の売上高は、3億4,600万円となりました。

予想対比では5,500万円減収となりましたが、新規顧客である高性能PETトップメーカーへの出荷を開始し、前年同期比で1億1,700万円の増収となりました。

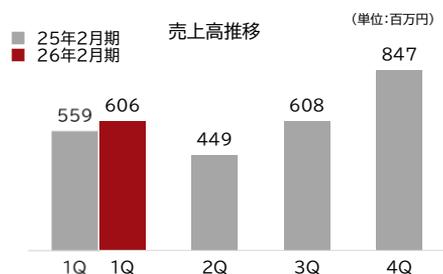
新領域 | 売上高

■ 新領域事業の売上高は6億600万円となりました。

■ データセンター向け案件が寄与し、前年同期比4,700万円増収となりました。

(単位:百万円)

項目	26年2月期 1Q			(参考) 25年2月期 1Q	前年同期比	26年2月期
	予想	実績	予想比			通期予想
売上高	521	606	+ 84	559	+ 47	1,987



新領域事業についてご説明いたします。

新領域事業の売上高は、6億600万円となりました。

データセンター向け案件等が寄与し、予想対比では8,400万円増収、前年同期比4,700万円増収となりました。

現状

- 現時点で、Raicol社の建屋、製造装置、研究開発装置などへの直接的な被害はありません。
- 6月25日の停戦を受け、従業員はオフィス業務に復帰し、事業活動を再開しております。
また、従業員の10名程度が予備役に招集されましたが、現在は順次業務に復帰しております。
- 空港も平常通り稼働しており、国際物流についても再開しております。

今後の見通し

- 売上高については保守的に見込んでおり、現時点では、2025年4月に開示済の業績予想に大きな影響が出ることは想定しておりません。
- 引き続き、状況を注視してまいります。



イスラエル情勢とそれに伴うRaicol社の現状についてご説明いたします。

現時点で、Raicol社の建屋、製造装置、研究開発装置などへの直接的な被害はありません。

6月25日の停戦を受け、従業員はオフィス業務に復帰し、事業活動を再開しております。

また、従業員の10名程度が予備役に招集されましたが、現在は順次業務に復帰しております。

空港も平常通り稼働しており、国際物流についても再開しております。

売上高については保守的に見込んでおり、現時点では、2025年4月に開示済の業績予想に大きな影響が出ることは想定しておりません。

引き続き、状況を注視してまいります。

03.米国および中国の関税政策・輸出規制が当社に及ぼす影響について

米国および中国の関税政策・輸出規制が当社に及ぼす影響について(7/15更新) **OXIDE**

■ 米国および中国の関税政策・輸出規制が当社に及ぼす影響について、2025年4月に開示しておりますが、2025年7月15日時点における当社の見解をアップデートいたしました。

	半導体	ヘルスケア	新領域
当社の生産拠点	日本	日本	日本およびイスラエル
米国政策による影響	<p>【リスク】 レーザ製品の米国出荷依存度は低く、米国関税政策の影響は限定的と考えております。</p> <p>波長変換単結晶は市場シェアが95%以上であり、品質や生産体制の面で他社製品への置換は難しいと考えられ、米国関税政策の影響は限定的と考えております。</p> <p>(Update 7/15) 25%関税の影響は軽微であると考えております。</p> <p>【ビジネスチャンス】 米国輸出規制により、中国半導体製造装置メーカーによる米国製品の購入が制限される場合があります。この為、当社への引き合いが増加しております。</p> <p>(Update 7/15) 引き合いは急増しております。</p>	<p>【リスク】 米国関税政策の影響度合いについては現在精査中です。</p> <p>(Update 7/15) 一部製品は関税対象外であることが判明し、ビジネスへの影響は軽微であると考えております。</p> <p>【ビジネスチャンス】 中国輸出規制による影響を受けなかった場合でも、米国結晶メーカーは、米国関税政策により事業展開に影響が出る可能性があります。この為、当社への引き合いが増加する可能性があります。</p>	<p>【リスク】 新領域事業製品の米国出荷依存度は低く、米国関税政策の影響は限定的と考えています。</p> <p>Raicol社製品について、イスラエル製品に対する関税は他の主要国と比較し低い為、米国関税政策の影響は限定的と見込んでおります。</p> <p>【ビジネスチャンス】 米国関税政策や長期的な調達不安の観点から、米国顧客が中国製品の購入を控える可能性があります。この為、当社やRaicol社への引き合いが増加する可能性があります。</p>
中国政策による影響	<p>【ビジネスチャンス】 中国関税政策により、中国半導体製造装置メーカーが米国から製品を購入する際に影響が出る可能性があります。この為、当社への引き合いが増加しております。</p>	<p>【リスク】 中国輸出規制の影響度合いについては現在精査中です。</p> <p>【ビジネスチャンス】 中国輸出規制により、米国結晶メーカーによる中国産原材料の購入が制限される可能性があります。この為、当社への引き合いが増加する可能性があります。</p>	<p>【ビジネスチャンス】 米国輸出規制の影響を受けないレーザ製品についても、中国関税政策の影響を受けて価格が上昇する可能性があります。この為、当社への引き合いが増加しております。</p>

Copyright: 2025 OXIDE Corporation. All Rights Reserved.

9

米国および中国の関税政策・輸出規制が当社に及ぼす影響についてご説明いたします。

こちらは、本年4月に開示した内容を、7月15日時点の情報でアップデートしたものでございます。

まず、半導体事業のリスクについて、今月米国政府より発表された25%関税の影響は軽微であると考えております。ビジネスチャンスの面では、中国顧客からの引き合いが急増しております。

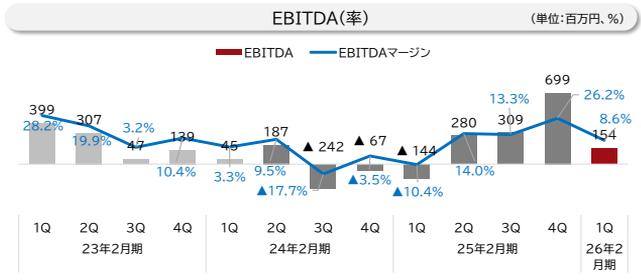
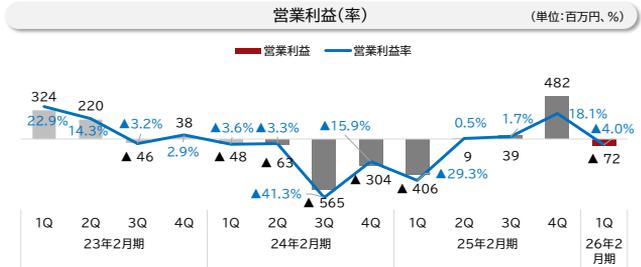
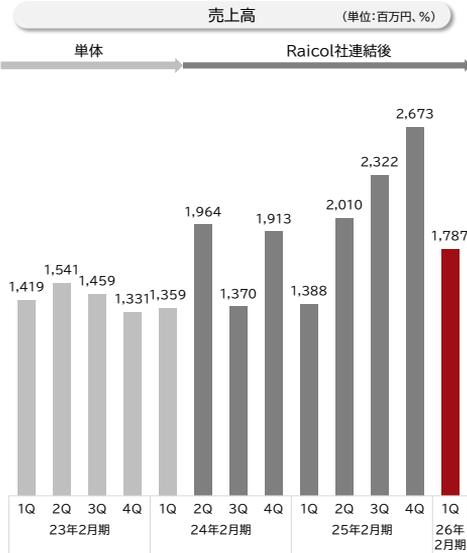
次に、ヘルスケア事業のリスクについて、一部製品が関税対象外であることが判明し、ビジネスへの影響は軽微であると考えております。

引き続き関税政策・輸出規制の動向について注視し、ビジネスチャンスに対して積極的に行動してまいります。

Appendix

財務トレンド

OXIDE



※2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

OXIDE

ディスクレイマー

本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の想定及び所信に基づく見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。

実際の業績に影響を与えるリスクや経済動向、業界需要などの不確定要因を含んでいます。

当社の見込みと実際の業績は異なる場合があります。ご了承ください。

本資料に記載された金額は表示単位未満を切り捨て処理、比率は表示単位未満を四捨五入処理しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

2024年2月期第4四半期にて、Raicol社の子会社化に伴うPPAの確定により、取得原価の配分を見直しました。このため、2024年2月期第2四半期及び第3四半期の数値は、遡及後のものとなっております。

豊かな未来を光の技術で実現する

<https://www.opt-oxide.com>